令和８年度　筑豊地区中学校新人体育大会　軟式野球大会　要項

主 催　筑豊地区中学校体育連盟
田川地区各市町村教育委員会
直鞍地区各市町教育委員会
主 管　直鞍地区中学校体育連盟

１　期　日

令和８年１１月１日（日）　　開　　場　　７時３０分～
競技開始　　９時００分～

＜予備日＞　１１月８日（日）

２　会　場

１１月１日（日）　光陵グリーンスタジアム（宮若市磯光１６６８－２）　TEL：0949-33-1515
直方市民球場　（直方市大字直方６７１－２）　TEL：0949-25-2237
中泉球場　（直方市大字中泉１１８２－１）TEL：0949-25-2237

＜予備日＞

１１月８日（日）　直方市民球場　（直方市大字直方６７１－２）　TEL：0949-25-2237
鞍手中学校　（鞍手郡鞍手町小牧２１２２-１）　TEL：0949-42-0109
大任球場　（田川郡大任町今任原３１８０）　TEL：0947-63-2242

３　参加資格

(1)　筑豊地区中学校総合体育大会開催基準及び『特別規定』による。
(2)　中学校における引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては、出場校の教育職員（部活動指導員含む）とする。ただし、教育職員（部活動指導員含む）以外のコーチは、学校長が認め、筑豊地区中体連に登録し承認を受けた者とする。地域クラブ活動における引率・監督・コーチは、県中体連に登録し、承認を受けた責任のある代表者・指導者とする。
(3)　チームの編成は、一校単位で編成されたものを原則とする。ただし、申請をし、了承を得た複数校合同チームの参加を認める。

４　参加制限

団体	合計	遠中	直鞍	田川	嘉飯
	12	3	1	4	4

遠中地区３位まで　　直鞍地区１位まで　　田川地区４位まで　　嘉飯地区４位まで

５　表　　彰　３位までを表彰し、会場・参加人数は、以下の通りとする。
・会場…光陵グリーンスタジアム
・参加人数…代表３名（監督１名、代表選手２名）以上とする。

６　県大会出場資格

３位以内は１１月２８日（土）・２９日（日）雁ノ巣球場・今津球場・桧原球場・西部球場にて行われる県中学新人軟式野球大会の出場資格を得る。
尚、県大会に出場資格を得たチームは、県大会に参加する義務を負う。

７　申し込み

令和８年１０月２６日（月）までに各地区専門部長は専門部長に連絡する。
申込先：　髙山　亮太（小竹町立小竹中学校　　0949-62-1311）

８　各地区専門部長

地区	氏名	学校	学校住所	tel	fax	専門部長
田川	田村　拓也	大　任	〒824-0511 大任町大字今任原 30 番地	0947-63-2008	0947-63-4881	
直鞍	髙山　亮太	小　竹	〒820-1101 小竹町大字御徳 656 番地	0949-62-1311	0949-62-1312	○
遠中	長濱　良介	遠　賀	〒811-4331 遠賀町別府 200 番地	093-293-0043	093-293-0052	
嘉飯	進登　大史	二　瀬	〒820-0053 飯塚市伊岐須 740 番地	0948-22-0388	0948-22-0455	

９　競技方法

(1) 全試合で、５回以降７点以上差があるときはコールドゲームとする。

(2) 延長戦は行わず、８回から１２回までをタイブレークとする。タイブレークは、継続打順で前回の最終打者を１塁走者とし、２塁の走者は順次前の打者とする。すなわち無死１・２塁の状態にして１イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、更に継続打順で得点差が生じるまでこれを繰り返す。尚、通常の延長戦と同様規則によって認められる選手の交代は許される。１２回終了までに勝敗が決しない場合は、最終出場選手９名全員による抽選によって決定する。

(3) 降雨によるコールドゲームは、５回以降の場合は試合成立とし、同点の場合かそれ以前は、継続試合とする。

１０　競技規則

２０２６年度公認野球規則及び申し合わせ事項及び指導者必携に準ずる。ただし、「連投は認めない」の項目は採用しない。また、「球数制限」については、実施する。

※球数制限については、次の通りである。

① 試合中規定投球数に達した場合、その打者の打撃中に攻守交替となるか、打撃を完了するまで投球できる。

② ボークにもかかわらず投球したものは、投球数に数える。

③ タイブレークになった場合、１日の規定投球数以内で投球できる。

④ 牽制球や送球とみなされるものは投球数としない。

１１　申し合わせ事項

(1) 筑豊地区最高の大会であることを認識し、校長または地域クラブ活動においては代表者の責任の下に大会参加生徒のマナーについては、指導の徹底を図る。

(2) 競技中、中学生らしくない言動のあるときは、退場を命ずることがある。（応援の声援もフェアーであること）

(3) ベンチ入りできる人数は選手１８名以内（マネージャーを含む）、監督１名、コーチ１名、引率教師１名の計２１名以内とする。

(4) 抗議はその当該選手及び主将、監督とする。

(5) 試合前ノックはサイドノックとする。

(6) ランナーコーチは選手に限る。ランナーコーチはヘルメット着用すること。

(7) 試合進行に関わり、必要でないのにタイムをとることは慎む。

(8) 出場選手は１～１８の背番号をつける。

(9) メンバー用紙の交換及び攻守決定は、以下の通りとする

・第１試合目…試合開始４０分前

・第２試合目…前試合の４回終了時

・第３試合目…前試合終了２０分後

(10) ベンチは若番号を一塁側とする。

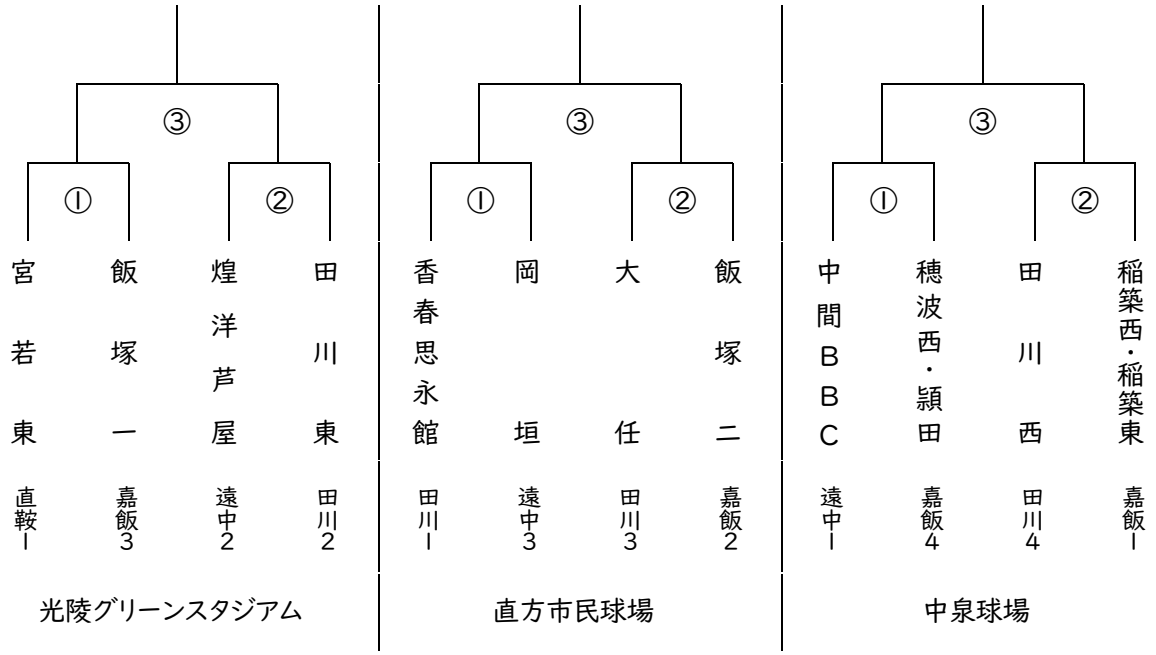
(11) 打者・走者の両耳ヘルメット、キャッチャーのレガース・ヘルメット・スロートガードの着用を義務づける。試合前のブルペン、またはノック時も例外ではない。控え捕手も防具を着用することが望ましい。（捕手の防具装備は、ベンチから出た位置で速やかに行うこと）

(12) 選手の手袋については、白または黒の単一色のものに限り認める。ただし、守備機会の投手は着用を認めない。

(13) マスコットバット、鉄棒およびバットリングの球場内への持ち込みを禁止する。

(14)　ペットボトルでの応援や、メガホン等で施設を叩くことを禁止する。
(15)　使用できるバットは、ＪＳＢＢのマークがついているもの及び木製バットとする。
(16)　雨など事情により試合が早まる場合は、各地区専門部長を通して、該当校に連絡をする。また、アップの時間は確保する。
(17)　打者・走者の両耳ヘルメット、キャッチャーのレガース・ヘルメット・マスク・スロートガードの着用を義務化する。試合前のブルペンまたはノック時も例外ではない。捕手の防具装備は、ベンチから出た位置で速やかに行うこと。
(18)　１位～３位の順位は、パート優勝の３チームを以下の順番で決定する。
①　勝ち点（７回までの勝ちを２点，タイブレーク方式での勝ちを１点）
②　７回までの得点率（＝得点÷攻撃をしたイニング）
③　７回までの失点率（＝失点÷守備をしたイニング）
※　②・③に関しては、サヨナラでゲームが決した場合のイニング数は，１アウト＝0.33イニングとしてカウントする。
①～③でも順位が決まらないときは各校代表者１名（顧問）による抽選を行う。

１２　組み合わせ



１３　参加料

登録選手一人につき２００円とする。大会当日の受付時に大会参加料申請書と共に徴収する。

１４　その他

(1)　監督は、本大会要項・申し合わせ事項・競技上の注意・会場使用上の注意やマナーについて、その関係するすべての生徒・保護者を含む大会参加者に周知徹底させるものとする。
(2)　ＡＥＤは、全球場ともに本部席横に設置。
(3)　審判割りについての申し合わせ事項
○　球審は審判連盟に依頼し、塁審は教師が行う。（４人制で行う）
○　塁審の審判割りは、下記のとおりとする。

	光陵グリーンスタジアム	直方市民球場	中泉球場
第１～３試合	直鞍・嘉飯地区専門部	遠中地区専門部	田川地区専門部

※　審判は原則として、審判帽(野球帽)福岡県軟式野球審判用ポロシャツ・チャコールグレーのズボン（紺のズボンでも可）を着用する。